

身近な海で宝探し!!

浦安三番瀬 貝殻図鑑



浦安市 三番瀬 環境観察館

浦安市 三番瀬 環境観察館

〒279-0013
千葉県浦安市日の出7丁目9番1号
TEL・FAX 047-711-1601
☑ sanbanze@city.urayasu.lg.jp



HP: www.ces-net.jp /sanbanze/

施設案内

開館時間 9:00-17:00

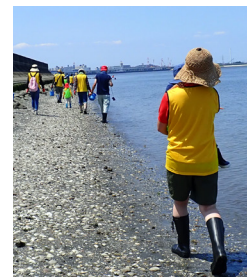
休館日
・月曜日（休日の場合は翌平日）
・休日の翌日（日曜日及び土曜日の場合は翌平日）
・12月29日から翌年の1月3日までの間

アクセス



貝殻でわかる豊かな三番瀬

三番瀬には栄養が豊富な海水があり、その栄養を元にプランクトンやカニ、魚などとても多様な生物が暮らしています。落ちていた貝殻を見ても、様々な色や形の貝が見つかります。



ぜひみなさんも個性豊かな貝殻拾いを通して、身近な海の多様性を感じてみてはいかがでしょうか。

貝が語る海の変化

昔の海と絶滅

現在の浦安三番瀬には生存していない種類の貝殻も見つかります。これらの貝殻から海の歴史や昔の姿を想像することができます。



↑10cmを越すアカガイはもう浦安三番瀬では見られない。

外来の貝の侵入

船のバラスト水※や潮干狩りに撒かれた貝に混ざって、本来生息していなかった貝が見つかるようになりました。増殖による影響が心配されますが、中には水産資源となっているものもあります。



↑ホンビノスガイは千葉ブランド水産物に認定されている。

※重りとして用いられる水。出港時に港の海水を積み、到着港で放水する。

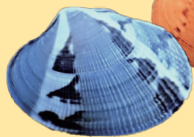
小さな貝にも注目

よく見ると砂に混ざって、様々な色や柄の赤ちゃん貝「稚貝」が見つかります。稚貝は大人「成貝」と同じ特徴を持っているので、どの貝なのか比べて見ましょう。



二枚貝

左右に一对の殻を持つ。多くが左右対称だが、例外もある。



アサリ

殻はざらざらしており、色や模様のバリエーションが豊か。特に「木更津ブルー」と呼ばれる青色は鮮やか。



ナミマガシウ

殻の片側は岩などに固着させて生活する。殻の内側は金属光沢がある。



シオフキ

殻は薄めて、白色のものが多くが紫色が入ることもある。



外 ホンビノスガイ

北アメリカ原産。殻は厚く重量感があり、年輪様の筋が入る。



カガミガイ

殻の表面にはかなり細かい筋が入りざらざらしている。



マガキ

最大 20cm 程になる。岩などに付着する。フリルのような形をした殻は、薄く鋭利なため扱いには注意。

マテガイ

薄くツヤのある細長い筒型の殻が特徴。



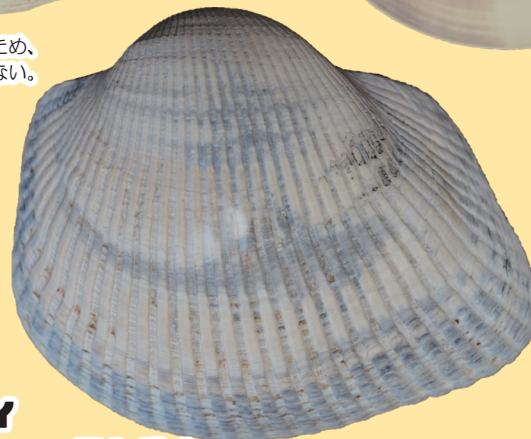
オオJガイ

左右の殻の大きさが違うため、完全に閉じることができない。



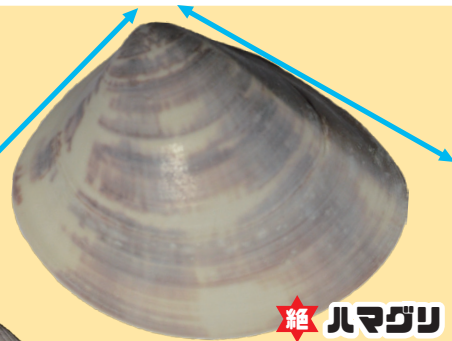
外 ミドリイガイ

インド洋～西太平洋原産。殻は薄く、内側は金属光沢がある。



アカガイ

10 cm 以上になる大型種だが、見つかるのは小型のものが多く。放射状の筋が約 42 本入る。



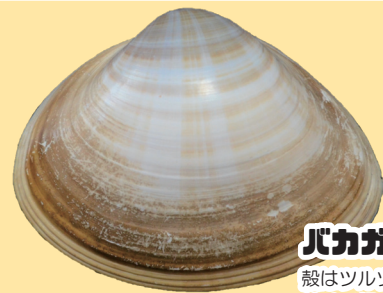
絶 ヒマグリ

殻は厚くツヤがある。三番瀬のものは左右の長さが非対称。



サルボウ

新鮮な殻には毛のような皮がある。放射状の筋が約 32 本入る。



バカガイ

殻はツルツルで、薄くて軽い。別名アオヤギ



トリガイ

毛状の皮が殻の溝に沿って生える。幼貝時はもっと色鮮やか。

巻貝

らせん状に巻いた殻と、入り口の蓋が特徴。例外も多く、その形状は多種多様。



イボキサゴ

三番瀬では一度絶滅していたが、近年50年ぶりに再発見された。



タマキビ

殻の表面に3-5本の強い筋が入る。



アラムシロ

殻は硬く、表面には細かい凹凸がある。



イボニシ

殻にはいぼ状の突起がたくさんある。



外 シマジュフネガイ

北アメリカ原産。一見二枚貝の様だが、他の貝に付着して生活する巻貝。



絶 ホリウミナ

大きさは個体差がある。三番瀬では貝殻でしか出会えない。



絶 バイガイ

褐色の斑紋が入る。ペーゴマの起原で身近な貝だった。



アカニシ

殻の内側は赤みを帯びている。10 cm 程になる干潟では最大級の巻貝。



ツメタガイ

殻は丸くツルツルしている。肉食で他の貝を捕食する。



穴が二つある！
ツメタガイは貝を食べるために丸い穴を開けます。

外 海外から来た外来の貝

絶 浦安三番瀬で絶滅した貝

※貝は全て原寸大の約 70% の大きさです。